

令和4年

第19回教育委員会会議 議事録

秋田県教育委員会

令和4年第19回教育委員会会議 議事録

1 期 日 令和4年12月8日 木曜日

2 場 所 教育委員室

3 開 会 午後2時

4 閉 会 午後2時25分

5 出席者 教育長 安田 浩幸

委 員 吉村 昌之

岩佐 信宏

大塚和歌子

伊勢 昌弘

奥 真由美

6 説明のための出席者

教育次長 伊藤 真人

教育次長 和田 渉

総務課長 元野 隆史

高校教育課長 佐藤 進

文化財保護室長 武藤 祐浩

7 報告事項

(1) 鹿角小坂地区統合校の校名(案)5候補について

(2) 秋田の縄文遺跡群保存活用基本構想(素案)について

8 会議の要旨

【安田教育長】

ただいまから、令和4年第19回教育委員会会議を開催いたします。

本日の議事録署名員は3番大塚委員と4番伊勢委員にお願いします。

はじめに、報告事項の「鹿角小坂地区統合校の校名(案)5候補について」、高校教育課長から説明をお願いします。

【高校教育課長】

報告事項「鹿角小坂地区統合校の校名(案)5候補について」説明概要

- ・ 校名の募集期間は、令和4年8月1日から9月30日までの2か月間であり、この間の応募総数は1,031件、校名数は574種類であった。
- ・ 校名(案)を選考するに当たり、花輪高校、十和田高校、小坂高校のそれぞれで、生徒・PTA・同窓会等の代表による合同意見交換会等を開催している。会での意見を踏まえ、「選考方針」を定めた上で、段階を踏んで校名(案)5候補を決定した。
- ・ 「鹿角高等学校」について、鹿角唯一の高校で、地域に根ざした幅広い教育活動を行うとと

もに、鹿角の地から人材の育成を期待するという思いが込められているため、候補とした。

- ・ 合同意見交換会において、漢字だと「かづの」と読めない人がいるという発言や、ひらがなの方が優しい印象があると言った意見も多数あったため、漢字だけでなく、ひらがなの「かづの」も候補としている。
- ・ 「鹿角青峰高等学校」について、「青」は鹿角の山々と晴れた空の爽やかさ、「峰」は鹿角を取り囲む山々の風景を表すだけでなく、「青は若々しく、峰は人として堂々と大きく成長してほしい」という願いも込められているため、候補とした。
- ・ 「鹿角清峰高等学校」について、「清」は米代川の清流、「峰」は奥羽山脈の際立つ自然豊かな地域の風景を表すだけでなく、そこに集う生徒一人ひとりが清らかな心で大望を抱いて躍進する姿が校名に込められているため、候補とした。
- ・ 合同意見交換会で、校名に込められている意味や校名に含まれている文字の意味も考慮してほしいという意見があったため、校名に込めた意味の違いから「青いの青峰」と「清いの清峰」の2つを候補としている。
- ・ 「鹿角未来高等学校」について、鹿角のことを誇りに思い未来に向かって羽ばたいてほしいという思いや、鹿角のことを考えていけるような学校になってほしいという、これからの学校の姿が願いとして込められているため、候補とした。
- ・ この後、教育庁内で、5候補の中から校名(案)一つを選考し、2月の教育委員会会議で発表、令和5年6月の県議会において「秋田県立高等学校設置条例の改正案」を提案する予定である。

【安田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【大塚委員】

5校名どれを取っても良いと思います。一つ一つの理由にもすごく深い意味が込められていて、地域の人たちが期待を持ってこの中から選ぶ、その経過もすごく楽しみです。

【奥委員】

今まで色々な分野の方々の意見を聴かれてきたというのは、前回の資料でも拝見しましたがけれども、ここからの最終決定では、例えば高校生等の若い人たちが入る機会はほとんどないと考えてよろしいですか。

【高校教育課長】

ここまでの経緯の中で、3校の高校生が意見や考えを述べる機会を十分取ってきたと思っております。この5候補に関しても、今後、選考の経過を皆さんにお知らせしますけれども、この後は、教育委員会で決めていくことになります。まずは十分に意見を生かして、進めていこうと考えております。

【奥委員】

やはり高校生主体の学校ですので、高校生の意見が盛り込まれるとより良いと思いました。

【安田教育長】

他になれば、次に、二つ目の「秋田の縄文遺跡群保存活用基本構想（素案）について」文化財保護室長から説明をお願いします。

【文化財保護室長】

報告事項「秋田の縄文遺跡群保存活用基本構想（素案）について」説明概要

- ・ 世界文化遺産となった、本県の大湯環状列石と伊勢堂岱遺跡を含む北海道・北東北の縄文遺跡群を後世に適切に引き継ぐとともに、地域の活性化や交流人口の拡大等につなげられるよう、県・市をはじめ多くの関係者が連携して遺跡の保存と活用に取り組んでいくための基本構想を今年度策定することとしており、その素案を取りまとめた。
- ・ 第1章に、本構想の目的と位置づけを示した。「1 策定の目的」では、県内2つの遺跡を秋田の縄文遺跡群と呼ぶことや、本構想が、両遺跡の関係者や多くの関連分野の団体が同じ未来像を共有して取り組む方向性を示すことを目的とするものであることなどを示した。
- ・ 第2章では、世界遺産となった大湯環状列石と伊勢堂岱遺跡の価値や概要を整理している。
- ・ 第3章では、国内の世界遺産の先行事例や、地元住民を対象に行った課題意識と保存活用に関するアンケート調査の結果を踏まえ、課題を整理している。課題として、世界遺産登録の際の世界遺産委員会による勧告への対応やガイド活動の充実、来訪者の多様なニーズへの対応等を列挙している。
- ・ 第4章において、関係者が共有すべき未来像・スローガンを「ストーンサークルがつなぐ過去現在未来 人の和」とした。遺跡を守りその価値を伝える人々と、遺跡を訪れる人々をつなぎ、その環境が時代を超えて受け継がれ、世界中の人々との和が生まれる場所として活用されている姿を目指すこととしている。この未来像実現のために、受け継ぐ、つながる、広げるをキーワードとして3つの基本方針を定めている。
- ・ 第5章では、3つの基本方針を踏まえた施策の展開を整理した。基本方針1「秋田の縄文遺跡群を受け継ぐ」の具体化のため、保存整備の推進、価値や魅力の伝達、文化財保護意識の醸成、良好な景観の形成の4施策、基本方針2「秋田の縄文遺跡群でつながる」の具体化のため、ガイド等団体の育成拡充、アクセスや周辺環境整備の推進、遺跡の特別な公開の3施策、基本方針3「秋田の縄文遺跡群から広がる」の具体化のため、様々な情報発信の拡充、官民が連携した誘客の推進、遺跡の多様な活用の3施策にそれぞれ取り組んで参る。
- ・ 例えば、基本方針1の施策（1）「保存・整備の推進」では、縄文遺跡群の一体的な保存管理と公開活用として4道県の17遺跡共通デザインの説明看板の設置を、施策（4）「遺跡と周辺の良い景観の形成」では、世界遺産委員会勧告への対応として遺跡内の道路移設等を挙げている。
- ・ 基本方針2の施策（2）「遺跡へのアクセスや周辺環境整備の推進」では、駐車場及び便益施設の充実と周辺施設の整備について、来訪者のニーズや滞在時間増に合わせた飲食や物

販コーナーの新設等を挙げている。

- ・ 基本方針3の施策（2）「官民が連携した誘客の推進」では、魅力ある周遊モデルコースや旅行商品の造成と誘客の推進について、白神山地や縄文の歴史を学ぶ学習旅行・修学旅行のPRと誘致活動の推進等を挙げている。
- ・ 県、市、地域住民、また民間団体等の取組には、世界遺産登録以前から進められ今後も継続していくもの、世界遺産登録に合わせて重点的に実施する短期的なもの、さらに、将来具体的に着手する中長期的なものがあるが、基本方針ごとに、施策、取組、具体例と実施時期等を別表の形で整理している。
- ・ 第6章では、県、市、住民や民間団体に期待される役割を明確化するとともに、今後の運営に向けた協力体制について整理している。
- ・ この案については、県議会教育公安委員会で説明し、意見を伺い、パブリックコメントを実施した後、いただいた意見を含めて修正を加え、本年度末までに整えることとしている。

【安田教育長】

ただ今の説明について、質疑等はございませんか。

【岩佐委員】

感想になってしまいうんですけれども、世界遺産に関して、観光地にはしたくないと思います。もちろん、色々な人に見てもらって、知ってもらいたいんですけれども、観光地として人に来てもらうのとは違うだろうなと思います。西馬音内の盆踊りや、男鹿の来訪神・ナマハゲもそうなんですけれども、元々観光ではないものですよね。ナマハゲは原始宗教のようなものでありますし、西馬音内の盆踊りは祖先の霊を敬い、追悼する行事であります。そういったものは、副次的には観光になるかもしれませんが、縄文遺跡群はそういったものがメインではなくて、あるものがあるように見てもらえればそれでいいかなと思います。

【吉村委員】

世界遺産に登録した時に、みんなで喜んだことを思い出しました。これから色々な施策をやっていただくんでしょうけれども、負のレガシーにならないようにしないといけないと思います。登録され、皆さんで喜びましたけれども、ある意味そこがスタートであって、価値感や魅力が出ないと整備や保存につながっていかない部分もあります。そういう部分をしっかりと考えながら、世界遺産登録されたところの成功例や失敗例をしっかりと見極めながら、官民一体という形で進めていっていただければと思います。せっかく身近なところで世界遺産登録されましたので、ぜひとも、皆さんの興味が湧くような形であってほしいと思います。

【文化財保護室長】

一番ベースとなる取組に関しては、基本方針2の施策（2）「価値や魅力の伝達」において、一番最初の項目として、遺跡や出土品の研究課題の解決に向けた調査計画を作成し、その研究を推進していくということを具体的に取り組むということを挙げさせていただいてお

ります。それをベースにして、そこで新たな魅力を把握して、またそれが皆さんに伝わるような取組につなげていければと考えております。世界遺産になるという話題になってから、やはり遺跡を訪れていただく人が増えております。せっかく多く来ていただいた分が、地域の力にいくらでもなるようにということでこの構想を策定しておりますので、将来につながるように取り組んでいきたいと思っております。

【大塚委員】

去年の夏に教育委員会の会議で、青森県の縄文遺跡に行かせていただきました。昔に行ったときは、道路のへりから草むらを通してその遺跡に歩いて行って帰ってきたこともあります。あのくらい整備されると、こんな広大な土地に、日本の北に、村という組織があったということや、説明された方の話を聞くと、私たちは何千年も前から人が人と一緒に住んでいる、何も変わっていない、共に生きているという感覚にすごい感動して、興味を持ち、色々な考えを馳せるようになりました。子どもたちが行ってそこを学ぶ機会になれば、教育効果は大きいだろうなと思いました。それから、帰りには埴輪のクッキー等を山のように買ってきただけですけども、買いたくなりますね。そこに因んだものやそれに関してのお店等、色々作る人も出てくるだろうと思います。また、埴輪の乗ったパフェも食べました。写真にも取りたくなるような色々なものが広まっていて、学びの地であり、心の何かでもあり、色々なことが発展するなと思いました。このような遺跡のあるところは、どちらかというとなんか田舎の方だと思ってしまうんですけども、そこを地域の活性化につなげられれば、二重にも三重にも良いのではないかと思います。

【文化財保護室長】

学ぶ機会という点では、昨年登録されまして、コロナの影響もあったんですが、遺跡を訪れていただく修学旅行団体の数は着実に増えております。私たちの方では、学びの部分では、歴史学習が始まる全県の小学校6年生に、学習資料として、この2つの遺跡と県内の他の縄文遺跡を組み合わせた格好で配布させていただいております。それを、授業や総合学習での材料として使っているのと伺っております。今年はちょっと工夫して、出土品の土偶を3Dで、パネルタッチするとグルグルと回して見られるようなものをくっつけており、結構反応も良いので、子どもたちにとつきやすく、学んでもらえればという感じは持っているところです。

【奥委員】

資料を見させていただいて一番印象的だったのは、守る人と訪れる人をつなぐということ、ここが本当にそうだなあと思ひまして、これが人の輪になりますけれども、人がまさにキーになってくると思います。やはり地域に住んでいる子どもたちを含めて、地域の人間がまずはそういった歴史的な素晴らしいものを理解することがすごく大事だと思います。昔、私がストーンサークルと聞いたとき、宇宙人が作ったのではないかと思います。色々なミステリアスなことも含めて、解明されていない謎のようなものも含めた、歴史、面白さを含んでいると思いますので、まずは地域の人間がそこを大事にし誇りに思う、そして、もちろ

んインターネットやY o u T u b e も普及はしてますけれども、人間と人間が触れ合って伝え合う、そういう意味で、先ほどの説明に出てきたガイドの役割はどういう役割になるのかをお聞きしたいと思いました。また、誘客というと何となく言葉が軽い感じがしますけれども、専門家のみならずこの地域全体で、私たちが伝えていける、他の観光とは違った学びを提供していけたら、非常に良いものになるのではないかと感じました。

【文化財保護室長】

ガイドに関しては、お話いただいたとおり、非常に重要な役割を担っていただいております。北秋田市の伊勢堂岱遺跡の方であれば、縄文館の館長さんが率先して、非常に話術巧みに現場を案内し、併せてジュニアボランティアガイドの育成も強化しながらやっております。大湯環状列石の方は、発見から長いせいもあって、1回、外部の団体自体も息切れしていたんですが、今、新たにまた会を組織し直して、定期的に遺跡を案内する取組をしていただいておりますので、この後、より内容を充実していけるように、育成、拡充していければと思っております。

【奥委員】

ジュニアボランティアガイドはいいですね。高校生等がやってくださるとすごく良いなと思います。ありがとうございます。

【安田】

この後でもよろしいですので、また基本構想案にいろいろ御意見等いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

予定された案件は以上ですが、他に何かございませんでしょうか。

他になれば、以上で本日の会議を閉じます。

お疲れさまでした。